

浅間山

概況（平成 15 年 10 月）

火山活動は、やや活発な状態が続いています。

地震活動は、6 月末頃から微小な地震が増加し、10 月も地震回数のやや多い状態が継続しました。また、火山性微動が時々発生しました。

噴煙活動は一時的にやや活発となりました。

二酸化硫黄の放出量は、今年 4 月頃までに比べると少ない状態となっています。

火口観測の結果、火口底の温度は依然として高い状態が継続しています。

以上のことから火山活動はやや活発な状態が続いており、今後も山頂付近に少量の降灰をもたらす小規模な噴火の起こる可能性はあります。山頂付近では少量の降灰や火山ガスに注意が必要です。

地震活動の状況

2000 年 9 月から、地震活動のやや活発な状態が続いていましたが、6 月末頃から微少な地震が増加し、7～9 月に引き続き 10 月も地震回数のやや多い状態が継続しました。今期間、1 日あたりの地震回数は 40～70 回程度で推移しています（全て無感地震、表 1、図 1、図 3）。火山性微動は、5 日に 1 回程度の割合で発生し、月合計は 6 回で先月まで（7 月 37 回、8 月 14 回、9 月 29 回）に比べ少なくなっています。火山性微動の規模は、基準観測点（B 点、火口の南約 2 km）での振幅が 0.1～0.2 μm、継続時間が約 1～2 分で、全て小さいものでした（表 1、図 2、図 4）。

表 1 火山性地震・火山性微動日別回数表（浅間山）

浅間山 (B点)													
上旬	1日	2日	3日	4日	5日	6日	7日	8日	9日	10日		旬計	
高周波地震	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		0	
低周波地震	59	58	49	69	67	89	54	52	61	54		612	
微動	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0		2	
中旬	11日	12日	13日	14日	15日	16日	17日	18日	19日	20日		旬計	
高周波地震	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0		1	
低周波地震	82	63	69	64	58	100	55	62	41	55		649	
微動	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0		1	
下旬	21日	22日	23日	24日	25日	26日	27日	28日	29日	30日	31日	旬計	月計
高周波地震	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
低周波地震	55	61	43	46	42	47	37	48	28	54	40	501	1762
微動	1	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	3	6

短期・日別 地震活動推移（最近 2 年間の火山性地震・火山性微動の日別回数）

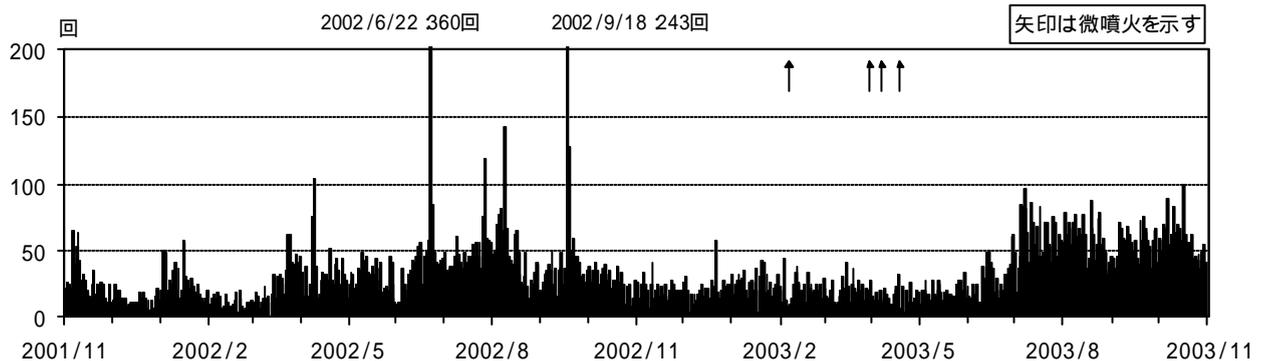


図 1 浅間山 火山性地震日別回数(2001 年 11 月 1 日～2003 年 10 月 31 日)

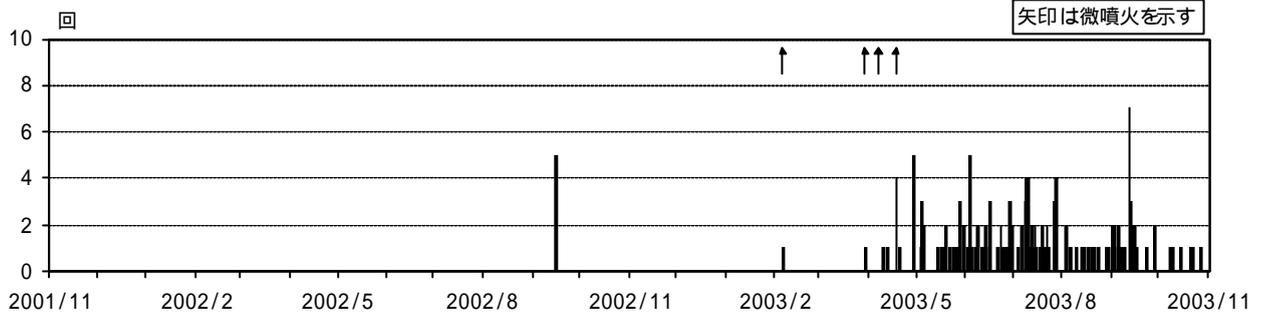


図2 浅間山 火山性微動日別回数(2001年11月1日～2003年10月31日)

長期・月別 地震活動推移 (1964年1月以降の火山性地震・火山性微動の月別回数)

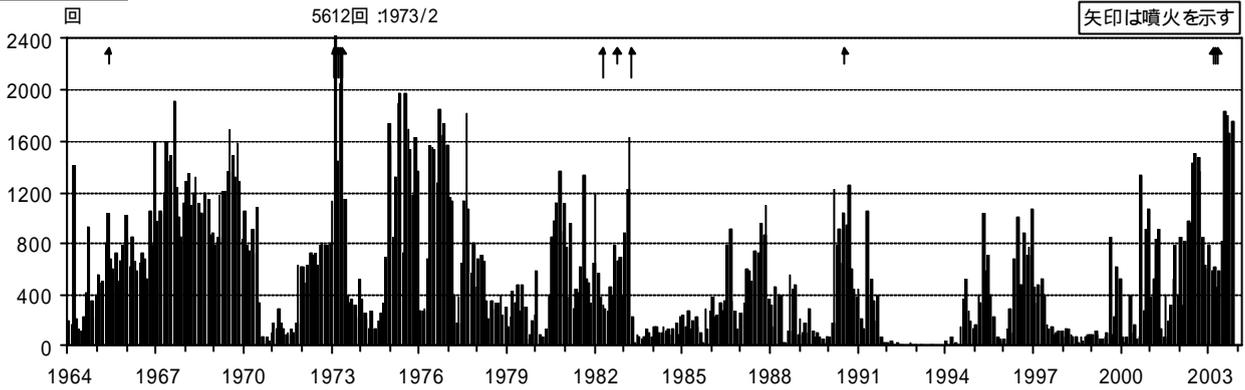


図3 浅間山 火山性地震月別回数(1964年1月～2003年10月)

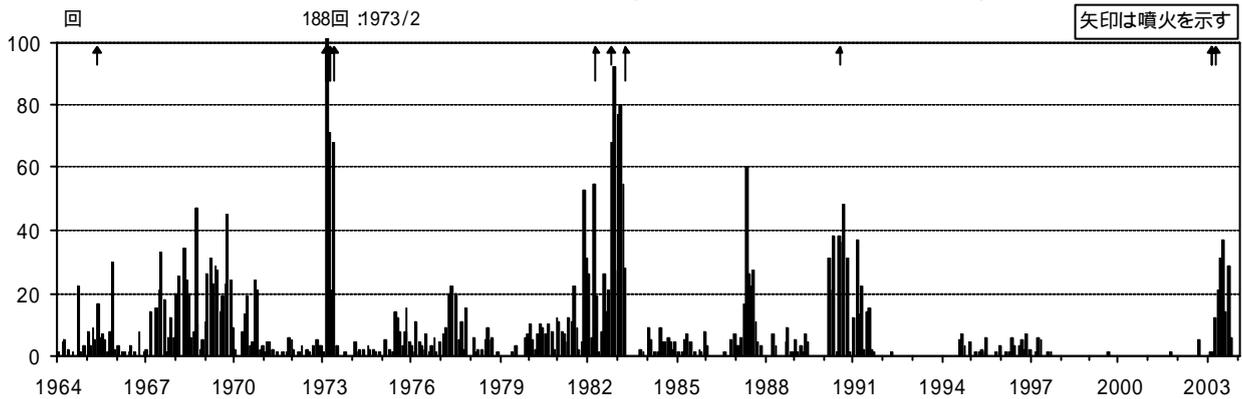


図4 浅間山 火山性微動月別回数(1964年1月～2003年10月)

噴煙活動の状況

遠望カメラによる観測では、観測できた日数は21日でした。噴煙高度の最高は500m(16日)、噴煙量の最大は2(4,15,16,21日)で、噴煙活動は一時的にやや活発となりました。

短期・日別 噴煙活動推移 (最近2年間の日別噴煙高度)

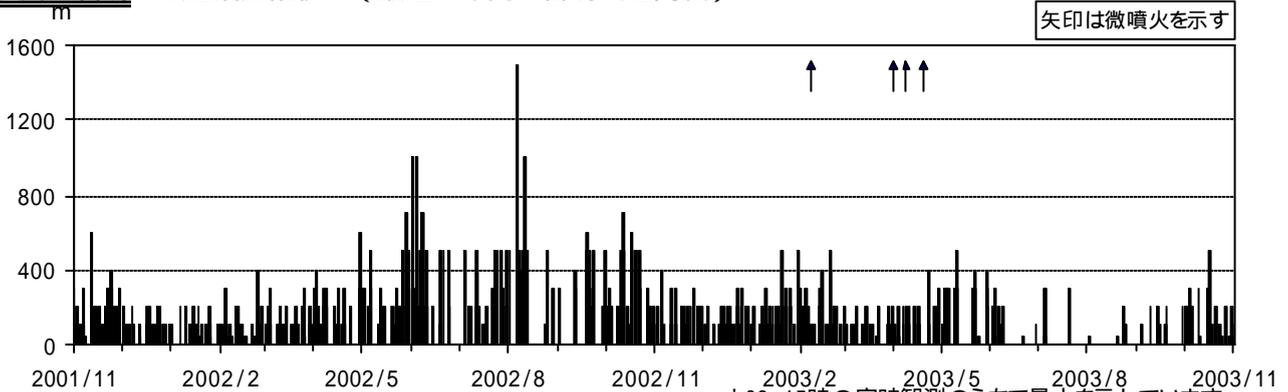


図5 浅間山 日別噴煙高度(2001年11月1日～2003年10月31日)

長期・月別 噴煙活動推移（1964年以降の月別噴煙高度・月別噴煙量）

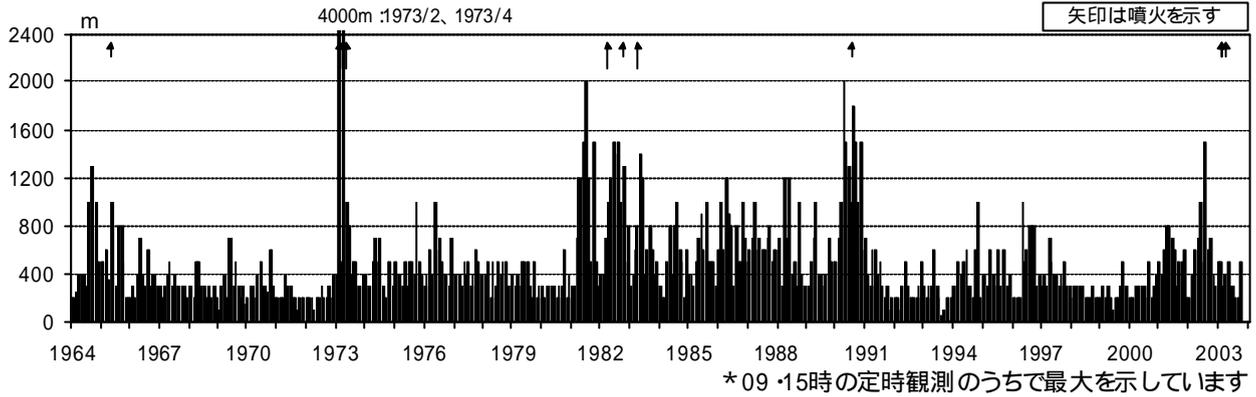


図6 浅間山 月別噴煙高度（1964年1月～2003年10月）

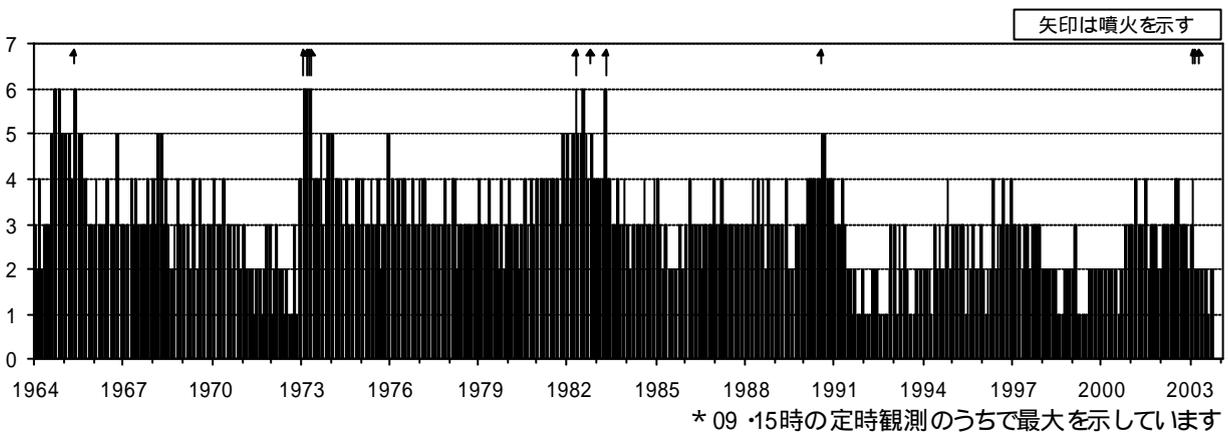


図7 浅間山 月別噴煙量（1964年1月～2003年10月）

火山ガスの状況

10月20日に実施した観測では、二酸化硫黄放出量は約200トン/日でした。1000トン/日を上回る値が観測された4月頃までに比べると、放出量は少ない状態となっています（図8）

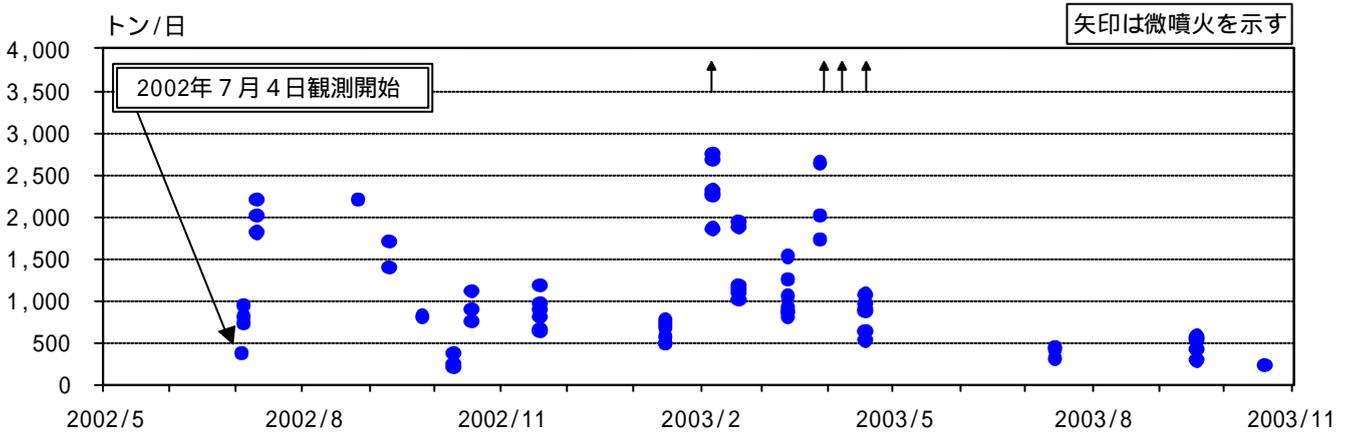


図8 浅間山 二酸化硫黄放出量（2002年7月～2003年10月）

火口内の状況

10月16日、21日に火口観測を実施しました。前回の観測(本年5月)と比べ、火口内の地形に大きな変化はありませんでした。地表面温度は5月に比べ低下していますが、300 程度と依然高い状態が継続しています(図11、図12)

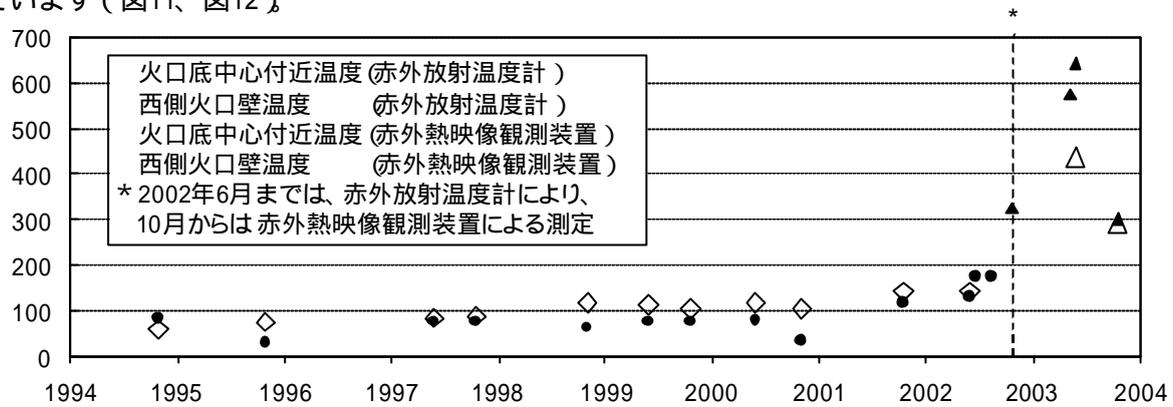


図11 浅間山 火口温度測定 (1994年～2003年10月)



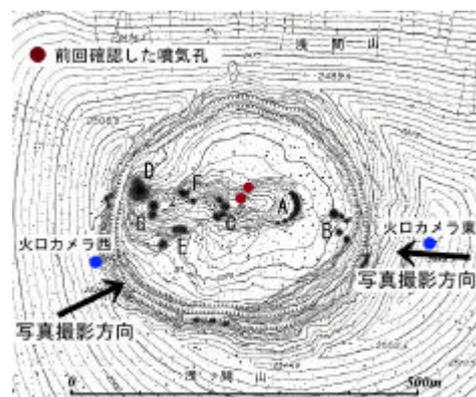
火口東縁（火口カメラ東の真上）から



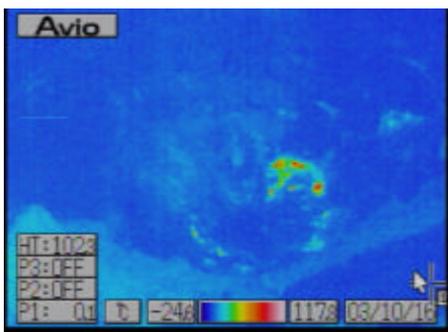
火口南西縁から火口底最深部を望む



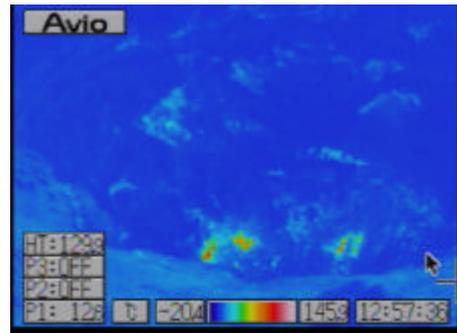
火口南西縁から本年5月に確認した新噴気孔を望む



浅間山火口図



赤外熱映像 火口南西縁より



赤外熱映像 火口北縁より

図12 火口写真および赤外熱映像（撮影日

～ 10月21日 10月16日）

地殻変動の状況

G P S による連続観測では、火山活動によるとみられる顕著な変化はありませんでした（図13）

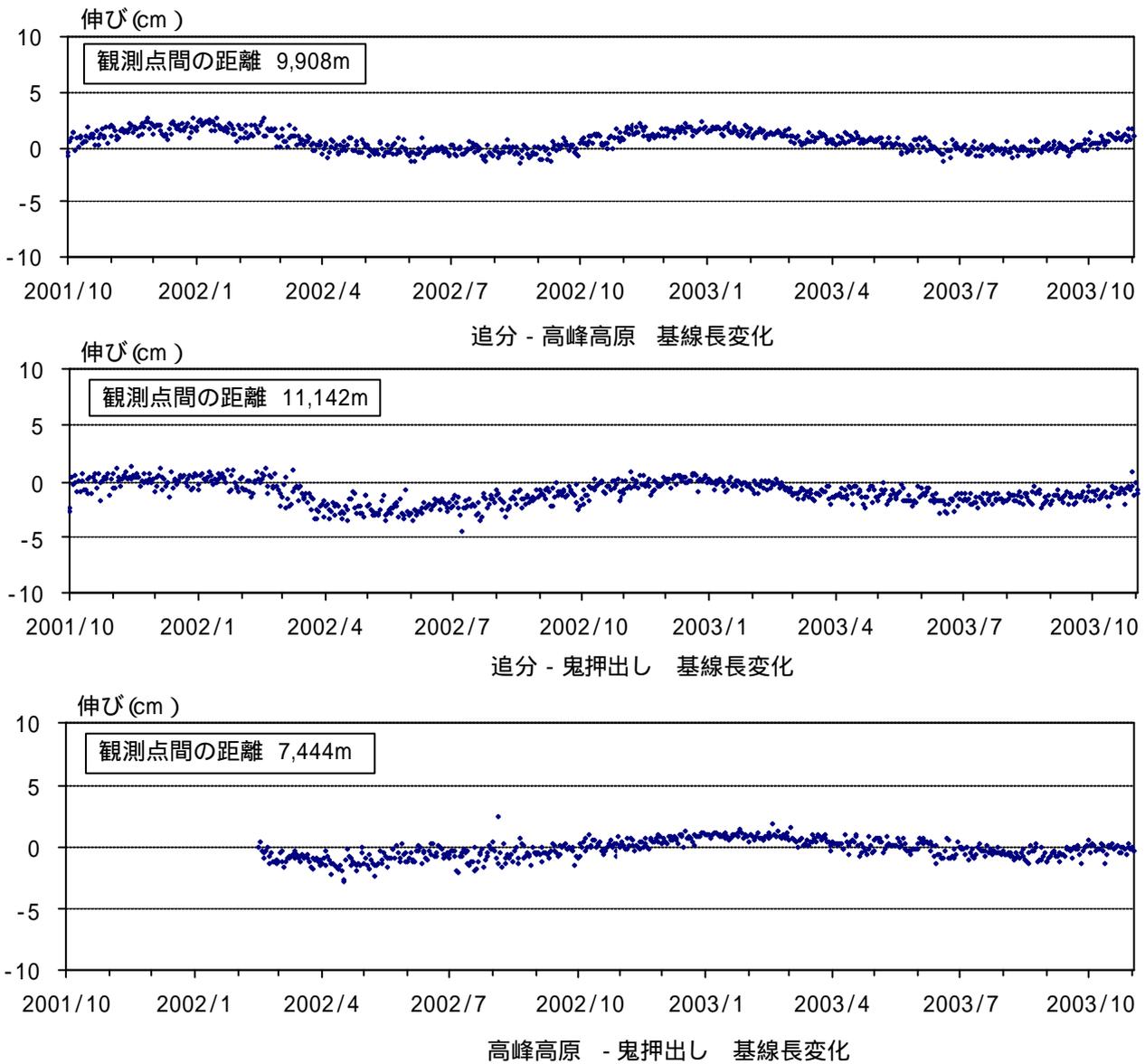


図 13 浅間山 G P S 観測結果（2001 年 10 月 1 日～2003 年 10 月 31 日）

